



今回は、患者さんへのFMDの認知度と検査への理解向上のために検査前の説明を工夫されているということで、お話を伺ってきました。

## 兵庫県立淡路医療センター

〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋1丁目1-137

TEL: 0799-22-1200

http://www.awajimc.jp/



検査・放射線部 橋本 恵美 臨床検査技師

### 検査の説明を行うことで5分間の駆血や検査への不安が大幅に解消されます

— FMD検査前、具体的にどのような説明を行っているのでしょうか？

①FMDは動脈硬化の早期段階である血管内皮機能障害の程度をみる検査であること、②カフで5分間腕を圧迫し、その前後の血管径の変化を超音波でみるため、腕の痛みやしびれを伴うこと、③検査時間は約20分かかり、その間姿勢保持の必要があること、この3点をポイントに説明しています。実際に説明を行った患者群(男性30名、女性12名、72±14歳)と、説明を行わなかった対照群(男性10名、女性3名、52±27歳:職員10名、患者3名)にそれぞれアンケートを実施しました。

— 5分間の駆血が患者さんでは我慢できないのでは…と心配される声も多く聞きますが。

検査前に説明を行った患者群では、駆血が気にならなかった方が74%と対照群の31%を大きく上回りました(図1)。更に、駆血以外で検査中何か気になることはありましたか?という質問についても79%が特になかったと回答し、対照群の49%と比べて安心して検査を受けられた方が多いことも分かりました。

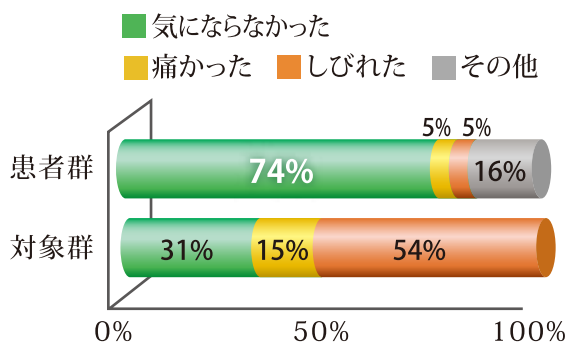


図1 アンケート『5分間の駆血は気になりましたか?』

### 継続的に検査を受けたいと思う説明を意識して

— 駆血以外で検査時間が長く、患者さんがじっとしていられるのか心配される事もありますが…。

説明の際に検査時間は少し余裕を持って20分と説明していますが、こちらにおいても説明した患者群では、検査時間が長く感じた方が圧倒的に少なかったのです(図2)。更に、今回のアンケートで今後も検査を受けたいかどうかを尋ねたところ、86%の患者さんが「はい」と回答しました(図3)。治療の一環として検査の重要性を認識したことで、今後も検査を受けようという気持ちになったのではないかと思います。FMD検査は、信頼度の高い検査結果を得るために患者さんの協力を必要とする検査です。今後は検査説明だけでなく、検査の意義を実感してもらえるような取り組みを行っていきたいと思います。

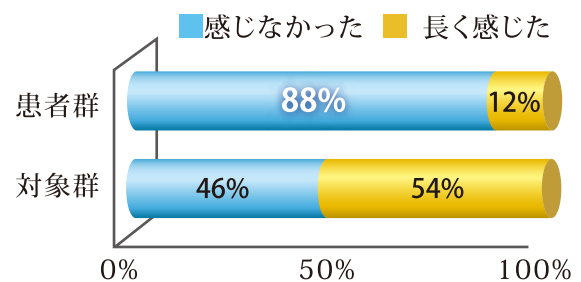


図2 アンケート『検査時間は長く感じましたか?』

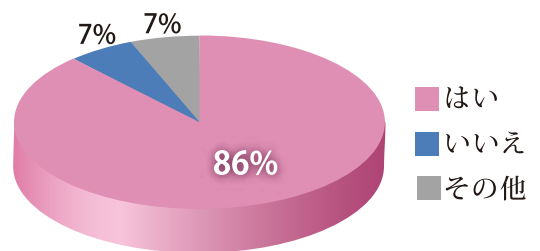


図3 患者群へのアンケート『次回もFMD検査を受けようと思いますか?』